九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

子どもによる授業分析の研究 : 分析方法の開発と分析視点の析出を中心に

清水, 良彦

https://doi.org/10.15017/1441010

出版情報：九州大学, 2013, 博士（教育学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

論文審査の結果の要旨

本論文は、子どもが参加主体となる授業分析方法を提案するものである。教育方法学において、授業実践の具体的な事実に基づいて行う授業分析は重要な位置を占めてきたが、これまでに知られていない授業の事実を把握することや従来から把握されてきた授業の事実の新たな意味を見出すことが課題であった。それに対し、本論文は子どもという参加主体を新たに授業分析に組み込むことでその解決策を提示するものであり、高く評価できる。

この授業分析方法によって、従来の授業分析では把握することのできなかった、子どもが把握している授業の事実を捉えること、また、当事者的な視点から授業分析を行うという従来にはない新たな授業分析視点から授業の事実を解釈・分析することが可能となった。さらに、本論文はこの授業分析方法が子どもや教師にとって実践的価値のある分析方法であることを明らかにしており、今後の更なる発展が見込まれる。

以上のように、本論文は従来の授業分析研究では示し得なかった重要な知見を導出するものである。

よって、本論文は博士（教育学）の学位に値するものと認める。